

第4号の刊行に寄せて

平成14年度に本格着手した金沢城の調査事業は、今年度、4年目に入りました。この間、石垣の編年をおおよそ解明し、絵図文献等の調査から二の丸御殿の様子を明らかにするなど一定の成果を得ることができました。

こうした成果もふまえ、今年度は、11月に金沢城の大きな魅力の一つである石垣をテーマに「金沢城フォーラム」を開催しましたほか、3月には、ビジュアルでわかりやすく城の歴史などを紹介する「よみがえる金沢城」第1巻を刊行するなど例年以上の情報発信に努めたところです。

本書では、「金沢城フォーラム」の記録のほか、金沢市文化財保護課の出越茂和氏よりいただきました宝暦13年の金沢城五十間長屋石垣修築の鍬初儀式に使用された神具机に関する玉稿や近世史学を専門とする長山直治先生からお寄せいただきました兼六園の位置や呼称に関する大変興味深い論文を収載いたしました。室員による研究、報告とともに多彩な内容となりました。

最後になりましたが、玉稿をお寄せいただきました両先生、金沢城フォーラムの収録につきまして御高配をいただきました北垣聰一郎先生、北野博司先生に感謝申し上げますとともに、本書が県民の皆様の高い関心に応え、金沢城の保存・活用の一助となり、広く近世城郭史研究に資するものとなれば幸いと存じます。

平成18年3月

石川県教育委員会

教育長 山 岸 勇